

各市町農業総合指導推進会議会長
福井県農業協同組合中央会長
福井県経済農業協同組合連合会代表理事理事長
福井県農業共済組合長
各農業協同組合長
福井県土地改良事業団体連合会長

様

福井県農業総合指導推進会議
会長 酒井 智吉

園芸施設等の雪害防止対策の徹底について

日ごろから、本会議の事業推進に特段のご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
さて、福井地方气象台によると、12日から13日にかけて冬型の気圧配置が続く見込みであり、今後の積雪に対して、油断なく警戒することが重要です。
つきましては、園芸施設等の雪害を未然に防止するため、関係者や農業者への指導の徹底をお願いします。

大雪に関する福井県気象情報 第6号

平成30年1月12日10時18分 福井地方气象台発表

(見出し)

嶺北では、12日昼過ぎにかけて、嶺南では、12日夕方から夜のはじめ頃にかけて大雪による交通障害に警戒してください。

(本文)

[要因]

北日本の上空約5000メートルには、氷点下3.6度以下の寒気が流れ込み、日本付近は冬型の気圧配置となっています。この冬型の気圧配置は13日にかけて続く見込みです。

[雪の予想]

12日12時から13日12時までに予想される24時間降雪量は、多い所で、

嶺北 平地 40センチ 山地 50センチ

奥越 50センチ

嶺南 平地 40センチ 山地 50センチ の見込みです。

<担当>

福井県生産振興課 福田、田中

TEL 0776(20)0431

降雪による園芸施設等の倒壊防止について

平成30年1月12日
福井県農業総合指導推進会議

- パイプハウスが雪で倒壊しないよう、支柱を立てるとともに、肩部が広がらないようワイヤーにより引き付け補強する。
- 屋根雪の滑落を良くするためハウスは閉め切り、内張りのカーテンを開放して室温を保つ。
- ハウスの周りの融雪・除雪に努める。

1 ハウスの補強

- ・3～4m程度の間隔で支柱を立ててハウスを補強する(図-A)。
- ・積雪荷重により肩部が広がると倒壊しやすくなるので、3～4m程度の間隔でワイヤー等により引き付ける(図-B)。

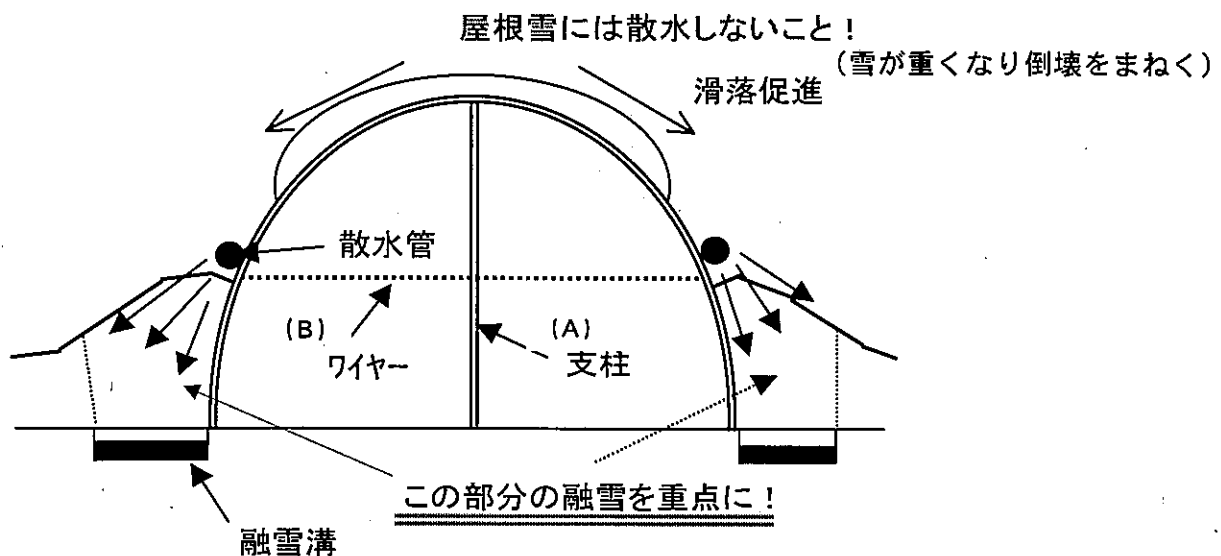


図 ハウスの雪害対策

2 積雪対策

(1) 屋根雪の滑落促進

- ・ハウスの屋根雪の滑落を良くするためハウスは閉めて保温する。内張りカーテンがある場合は開放する。
- ・ビニールの弛んだ部分や天窓に積雪した場合は、早めに人力で除雪する。

(2) ハウス回りの除雪

- ・融雪パイプがある場合は、側面に堆積した雪に散水する。屋根雪に散水すると倒壊するため絶対にしない。
- ・屋根部まで積雪しないよう、ハウスの側面はこまめに除雪する。屋根部まで積雪した場合は、重みが片寄らないようにハウス両側を均等に除雪する。

(3) 沈降圧防止

- ・ビニールを除去してあるパイプハウスでも、積雪による沈降圧で変形したりするので、パイプを早めに掘り出す。

- (4) 耐雪仕様でないハウスで、ビニールが外していない場合は、ビニールを破いてハウス本体の倒壊を防ぐ。